

市制施行 80 周年記念事業  
市川市文学ミュージアム企画展

歌人・平安朝文学研究者  
かんさくこういち

## 神作光一のひもとく和歌の世界

第 1 部 小倉百人一首、物語でたどる和歌の魅力 / 第 2 部 短歌でつづる神作光一の世界

開催期間：2014 年（平成 26 年）3 月 15 日（土）～7 月 6 日（日）

### 開催趣旨

市川市在住の神作光一は、歌人や平安朝文学研究者として活躍するかたわら、芸術文化の振興に尽力してきました。市川市においても、『市川の文学』の発刊、「市川手児奈文学賞」の創設、「市川市文学館」構想に携わるなど、文学顕彰の一端を担ってきました。

本展は神作光一の監修のもと、第 1 部では、「小倉百人一首」「源氏物語」「伊勢物語」など、古典文学の“美”に触れる貴重な資料を展示し、その中から〈和歌〉の魅力に迫ります。第 2 部では、神作光一のさまざまな業績を短歌作品とともにたどり、その世界を一望します。

和歌から短歌、<sup>いにしえ</sup>古より続く<sup>みそひともじ</sup>三十一文字の世界の魅力をお伝えします。

### 見どころ

#### 第 1 部

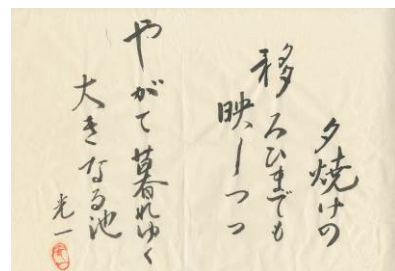
- 第 1 部は「小倉百人一首」がメインの内容です。百人一首歌の中から、本展ゆかりの人物（藤原定家、紫式部、在原業平）と有名な小野小町の歌を取り上げ、歌が誕生した背景、和歌の技法や、歌意のさまざまな解釈についてご紹介し、百人一首鑑賞の楽しみ方を紹介します。「伊勢物語」、「源氏物語」についても、和歌に注目しその魅力を紹介します。
- 「小倉百人一首」について、その源流と展開を掘り下げます。小倉百人一首の「百」の元になっている<sup>ひやくしゅうた</sup>「百首歌」（百を単位として詠み出す定数歌）の始まりと、「小倉百人一首」の形式を模して作られた様々な百人一首について紹介します。
- さらに、前期・後期に分けてテーマ展示を開催します。前期は「カルタいろいろ」として、「小倉百人一首」を中心とした様々な歌がるたを展示。後期は「小倉百人一首 絵くらべ」として、百人一首のさまざまな版本をご覧いただき、その違いを楽しんで頂きます。

#### 第 2 部

○神作光一の短歌作品とともに、さまざまな業績をたどります。神作は、“難しい表現は使用せず誰の心にも届く歌”をよい歌として、四季のうつろい、日々のくらしや家族への愛を分かりやすい表現で詠んでいます。こうした短歌作品とともに、文学研究者・教育者、歌人、芸術文化振興の担い手という 3 つの側面から、神作の想いを浮かびあがらせてます。



1931（昭和 6）年、千葉県市原市生まれ。東洋大学元学長。現在、東洋大学名誉教授。2006 年に日本歌人クラブ会長に就任（現名誉会長）、短歌結社「花賞」名誉会長。2011 年瑞宝重光章を受章。



神作光一自筆作品

注目の展示資料！（展示資料総点数 約100点）

前期展示

\* 〔百人一首絵巻〕

〔朝倉重賢〕筆〔江戸時代前期〕写・1巻

目にもあざやかな濃彩色の歌仙絵を伴った絵巻。美しく繊細な絵巻は20メートル以上に及びますが、定期的に場面替えし順々にお見せします。



通期展示

\* 〔百人一首かるた〕

〔江戸時代前期〕写・1組

一枚一枚丁寧に彩色が施された絹本かるた。和歌も流麗な文字で書かれています。江戸時代、富裕層の婚礼調度品として特別に誂えられたものと推定されます。定期的に札を入れ替えて、天皇、貴族、女官、僧侶さまざまな姿絵をご覧ください。

後期展示

\* 『錦百人一首あづま織』

勝川春草画 安永4年（1775年）刊・大本1冊

浮世絵師・勝川春草の描く百人一首の絵本。江戸時代中期に登場した春草の姿絵は、伝統的な姿絵を打ち破った画期的なもので、立ち姿の歌人が多く躍動感があります。



\* 展示室におきまして、江戸時代の百人一首かるたを一枚一枚スクリーンでお見せします。百人一首の研究者 有吉保氏と神作光一氏による歌意とともにご覧いただきます。

## 関連イベント

### ●神作光一による特別展示解説

毎月第1木曜日 14時～15時 場所：企画展示室（申込不要）

### ●平安装束に触れてみよう

青柳隆志氏（東京成徳大学教授）による十二単と小袿の紹介と解説

4月29日（火・祝）14時～16時/場所：ベルホール/定員46名（要申込）

### ●講演会「和歌を歌う～和歌披講と歌会始」

青柳隆志氏（東京成徳大学教授）5月17日（土）14時～15時30分

場所：グリーンスタジオ/定員220名（要申込）

### ●講演会「神作光一さんの世界」

秋葉四郎氏（日本歌人クラブ会長、齊藤茂吉記念館館長）

5月24日（土）14時～15時30分/場所：グリーンスタジオ/定員220名（要申込）

### ●講演会「江戸の教養を考える～伊勢物語・徒然草・百人一首」

神作研一氏（国文学研究資料館教授）

6月8日（日）14時～15時30分/場所：文学研修室/定員30名（要申込）

### ●競技かるたを見てみよう

実演と関純郎氏（千葉県かるた協会会長）による解説

6月14日（土）14時～16時/場所：メディアパレス（申込不要）

### ●短歌・文学散歩「神作光一とめぐる市川の街」

文学の散歩道～弘法寺（歌碑）～じゅん菜池緑地（歌碑）～文学ミュージアムを、マイクロバスで巡ります。

6月26日（木）13時～16時/集合場所：市川市役所/定員25名（要申込）

## 図録について

- ・書名 『歌人・平安期研究者 神作光一のひもとく和歌の世界』
- ・規格 A5判 64ページ（うちカラー40ページ）
- ・価格 700円（税込み）
- ・販売場所 3月15日より、文学ミュージアム、文化振興課（市川市南八幡4-2-5 いかわ情報プラザ2階）、八幡市民談話室（市川市八幡2-4-8）等で販売

## 画像について

本プレスリリースに掲載されております画像データをプレス用に貸出いたします。ご希望の方はご連絡ください。

## 企画展概要

- ・会期 平成26年3月15日（土）～7月6日（日）  
前期：平成26年3月15日（土）～5月11日（日）  
後期：平成26年5月17日（土）～7月6日（日）  
※展示替え休館 平成26年5月12日～16日

午前10時～午後7時30分（土日祝は～午後6時）

企画展示室への入室は閉館の30分前まで

- ・会場 市川市文学ミュージアム（市川市生涯学習センター2階）企画展示室  
市川市鬼高1-1-4 本八幡駅より徒歩15分
- ・観覧料 一般：300円（240円）、65歳以上：240円、高大生150円（120円）  
中学生以下無料（ ）は25名以上の団体料金

※前期の利用済チケットをご提示いただくと、後期は団体料金で観覧できます。65歳以上の方は、利用済チケットのご提示でプレゼントを進呈。

※市制施行80周年を記念して、ご来館の昭和9年生まれの市民の方に、次回利用できるペア招待券を差し上げます。

休館日：月曜日（5/5は開館）、3/28、4/30、5/7、5/12～16、5/30、6/27

### 千葉商科大学との連携事業について

企画展の開催中に、「メディアロード街路灯でたどる 市川市文学ミュージアム 神作光一の和歌の世界展 クイズラリー」を開催します。メディアロード（JR本八幡駅～下総中山駅間の高架下）の街路灯に百人一首にちなんだクイズがあります。

4つのクイズの答えとスペシャルヒントをもとに、答えの文字を組み合わせるとある人名になります。

その人名を文学ミュージアムで答えて、正解し入館してくださった方には粗品を差し上げます。各クイズのヒントは、QRコードで携帯電話、スマートフォンで読み込んで見られます。

制作協力：千葉商科大学 政策情報学部 伊藤結・中村美穂・舟橋瑞萌



### 取材について

取材は随時受け付けております。お手数ですが、お電話もしくはEメールにてお問合せください。ただし、時間や場所の制約でご希望に添えないこともございますのでご了承くださいませようお願いします。

また、読者プレゼント用に神作光一展の招待券を出すことも可能です。枚数等については、ご相談ください。

【問い合わせ先】市川市文学ミュージアム 担当：柳澤、山田、関口  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 市川市生涯学習センター2階  
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

TEL：047-320-3334 FAX：047-320-3356

Mail：mamiko-yanagisawa@city.ichikawa.chiba.jp（柳澤）

bungaku-plaza3@city.ichikawa.chiba.jp（山田）

http://www.city.ichikawa.lg.jp/litera